

防潮堤工事トラブル対策協議 議事録		承認	検印	起票
日時	平成20年10月24日(金曜日)16:30~17:30:都営集会所			081024 小山
出席	東京都港湾局:2名 滝沢、高原 小田島建設株式会社:3名 入澤、吉澤、藤原 豊洲5丁目地区開発協議会:1名 東京ガス:服部 豊洲5丁目連絡協議会:4名 都営:柳澤会長、今副会長 メトロコープ第1豊洲:小山 メトロコープ第2豊洲:石塚理事長  計10名	記録		
議題	首記工事における住民の不満を把握し、問題の共有化を行うとともに、これらの解決をはかる。			
資料	「豊洲地区陸上防潮堤撤去工事の今後の進め方について」			

## 1. 本会開催主旨

第39回合同協会にて首記防潮堤工事により近接住民に相当の迷惑がかかっていることが連絡協議会メンバーより報告があった。本協議会ではこれを重大事とし、発注主の東京都港湾局をはじめとした関係各者にお集まりいただき、事実の確認、及び今後の対応対策について協議し、解決策を導き出すものである。

## 2. 状況報告

都営（豊洲5丁目団地自治会）今副会長より詳細な報告が行われた。以下、要約。

- ・ クレームをつけると理解したとの返事があるものの、すぐそばから元に戻ってしまう。
- ・ 防潮堤は削岩せず、カットすると事前の説明で約していたにもかかわらず、台座部分は大きな騒音を伴いつつ削岩していた。特定部分を削岩することについては何も聞いていない。
- ・ 破壊されたコンクリート塊の搬出時にダンプに無造作に積載するため騒音がひどい。
- ・ 予告無しの夜間作業あり。
- ・ 工事の振動を測定しているようなので、住民には振動が問題ではなく、騒音に問題ありと告げたが、騒音も測定しているとの回答がなかった。（騒音測定については本会で初めて知らされた。なぜ当日説明しなかったのか）
- ・ セメント散布を掘削積堀機（ユンボ）で行っており粉塵がひどいため、加減するよう再三申し入れたが対応できていない。

## 3. 協議内容

以上の状況報告について、工事管理担当よりいくつかの抗弁があったが、概ね事実通りと確認された。港湾局もこれを把握された。

連絡協議会からは工事そのものに反対しているのではなく、現場の作業者の一人一人が常に居住者の身を思い、配慮の行き届いた作業を目差してくれれば、大いに協力する姿勢であることを表明

した。

#### 4, 結果

工事担当からあらかじめ準備された提案、本会で新たに判明した要検討事項を含め、以下の通りとなった。

- ① 工事監督者を増強する（小田島建設：藤原氏）
- ② 下請け作業員に教育を徹底する
- ③ 港湾局はこれまで以上に現場の状況把握に努める
- ④ レンタルのニッケンの車両出入口から区道にこぼれる砂利が、車両通行によりハネ飛びする可能性があるという指摘に対して、関係者が今後の工事内容を確認し、その対応を検討する。  
本件は新規指摘項目。（関係者：港湾局（請負業者：小田島建設）、民地側地権者等（テナント、東ガス）、第一区画整理事業者）
- ⑤ メトロ第2角の「陸こう」について。メトロ第2にとって現在目隠しとなっていて都合がよい。これを完全に撤去されたくない。（今回の協議で判明：後日立ち会い確認をする。）
- ⑥ コンクリート破壊などの極めて大きな騒音が発生する工事は終了したが、以後、舗装工事における転圧機械の騒音が発生する。  
→ 工事時間帯の厳守。またやむなく時間外に行われる場合にはできるだけ早く通知を行うこととする。
- ⑦ 住民側、工事側がいつでも忌憚のない意見交換ができるよう、コミュニケーションをはかっていくこととする。

以上